

研究業績説明書

法人番号	77	法人名	熊本大学	学部・研究科等番号		学部・研究科等名	環境安全センター
------	----	-----	------	-----------	--	----------	----------

1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準【400字以内】

環境安全センターの研究は、専任教員の研究手法・技術を中心として、安全管理及び環境管理に関する分野に対して研究を実施している。専任教員の専門学問は薬学であり、化学の視点から研究を行っている。専任教員は、大学における化学物質管理のあり方の研究を行っている。また、抗生物質が効かない薬剤耐性菌の研究を酵素レベルで行っている。薬剤耐性菌問題は、20世紀の抗生物質の乱用により生じており、世界規模でその蔓延が危惧されている。薬剤耐性菌は、治療のために入院している患者だけでなく、家畜、食肉、河川や土壌などの自然環境中からも発見されている。専任教員は、薬剤耐性を発現させる酵素に焦点を当て、酵素活性を阻害する方法による薬剤耐性菌の早期発見法を研究している。これらの研究業績を選定した。

2. 選定した研究業績

業績番号	細目番号	細目名	研究テーマ及び要旨【200字以内】	代表的な研究成果【最大3つまで】	学術的意義	社会的意義、経済的意義	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標等)【400字以内。ただし、「学術的意義」「社会、経済、文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】	重複して選定した研究業績番号	共同利用等
1	7802	物理系薬学	本研究は、薬剤耐性菌において、薬剤耐性を発現させる酵素β-ラクタマーゼに関する酵素学的研究	①Structural Insights into the TLA-3 Extended-Spectrum β-Lactamase and Its Inhibition by Avibactam and OP0595, Antimicrob. Agents Chemother., 60(7), e00501-e005017 (2017) ②Structural Insights into Recognition of Hydrolyzed Carbapenems and Inhibitors by Subclass B3 Metallo-β-Lactamase SMB-1, Antimicrob. Agents Chemother., 61(10), 4274-4282 (2016)	B		①、②は査読付き論文である。 ①のImpact Factor (IF)は4.255、②は4.255であった。 ①の引用回数は1、②は4であった。		